

発行所

真宗大谷派 光善寺

発行人 太田高顕

茨木市島2丁目3-16

電話 072(632)7107

http://www.eonet.ne.jp/~kouzenzi

いぶき

2017年9月発行

今月のことば

仏法には

明日ということ

あるまじき候

仏法のことば

いそげいそげ

秋季永代経を厳修

九月二十三日

光善寺では、秋季永代経を彼岸中日にあたる九月二十三日に厳修します。永代経は、亡き先祖のためにだけお勤めするものではありません。ご両親やご先祖を偲ぶとき、今なお深い愛情をかけ続けてくださるのではないのでしょうか。このいのち、どういたしたいでしょうか。このいのち、どういたしたいのでしょうか。ご一緒に聞いてまいりましょう。ぜひともお運びください。

秋季永代経

九月二十三日(土)

昼席 午後二時

夜席 午後七時

講師 當麻秀圓氏

(大和高田 正行寺 前住職)



今月のことば

仏法には

明日ということ

あるまじき候

仏法のことば

いそげいそげ

蓮如上人

秋はつるべ落としといわれるほど一日が短く感じる。一日の時間は同じなのに。

今日という日は二度と訪れない。今生かされることの不思議さと有り難さをあらためて思う。

尼講彼岸会は九月二十六日に

会場は光善寺

島尼講(会長 福田紀代さん)では、彼岸会(無縁仏法要)を九月二十六日にお勤めされます。当日は、住職らによる読経、法話の後に懇親会を予定されています。お誘いあわせお参りくださいますようお願いいたします。

お内仏のお花

お参りに伺い、きれいに花が入れてあると嬉しいものです。仏花には季節の花を挿し混ぜますが、悪臭やトゲのあいものは避けます。庭に咲いた花などもいいですね。それでは、なぜ仏花などのおかざりは

すべて参りする人に向けてされるので

しよう?これはお浄土の世界を我々に見せるためだからです。たとえば、花はその姿や色、清々しい香りをもって、姿かたちの異なるものもいのちの尊さは同じだと教えているのです。一本一本の花は「どのいのちも等しく尊いのだよ」という呼びかけは、これまで私の耳に届いていなかったのです。私自身の生活において、他のいのちも同じように尊くいただいているだろうかと思っているこの頃です。(y)



いぶきの会

今月は二十八日(木)

午後7時30分から

場所 本堂

茨木別院の同朋会

日時 毎月五日 午後一時半より3時まで (一月は休み)

会場 茨木別院 会館一階

「御文」、「正信偈」、「歎異抄」などを学んでいます。